

戦後80年 会設立から20周年 令和7（2025）年の取り組み 「くまもとの戦争遺産を未来につたえる！！」

I 本会総テーマ くまもとの戦争遺産を未来につたえる！！

趣 旨

令和7年8月は「戦後80年」節目の年であるとともに「昭和100年」でもある。
戦争体験者は年々少なくなり、今の日本は「戦争を知らない世代」が大半を占める。近い将来、戦争体験者はいなくなり、体験者に頼らない「継承の形」を考える時期を迎えている。
本会は、戦後60年の2005年、市民グループ「玉名荒尾の戦争遺跡をつたえるネットワーク」として発足した。当初は玉名市大浜に残された「玉名（大浜）飛行場」と荒尾市中央区等の広域に所在した「東京第二陸軍造兵廠荒尾製造所（荒尾二造）」の戦争遺跡の残された遺構や遺物の調査、当時証言等の収集を中心に、年二回の例会活動を中心に活動してきた。その後、2014年には、調査・活動が熊本県下及び九州全域に広がっていった実態等から、組織を固めて現「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」と名称を変更した。現在は、戦争遺跡等の調査・研究を進める市民グループとして、戦争遺跡保存全国ネットワークでの九州地域の主要構成団体となり、運営にも携わりながら今に至っている。
その間、各種助成金等を活用し、熊本県内の戦争遺跡や空襲・戦禍の調査をまとめた、県民向けの平和継承リーフレット15集を刊行した。また、地域の諸学校での平和学習である出前平和講座、職域団体等への平和講演会、学校や職域団体向けの戦時資料貸出キットの展開、県民対象の見学会「戦争遺産を学ぶ旅」を開催し「戦争実相の解明と平和継承の活動」を進めてきた。さらに、『戦後70年 くまもと戦争遺産ガイドマップ』刊行、『戦後75年 平和を祈って くまもとの戦争遺産』刊行支援も行ってきた。
節目の年である「戦後80年」を迎え、これまでの諸資料を戦争の記憶をつたえ、平和を考える貴重な遺産として後世に残すため、以下内容で「くまもとの戦争遺産を未来につたえる」として本事業に取り組む。

①項「調査・研究・総合」視点

「玉名市立歴史博物館 共催企画展 戦後80年 たまな・くまもとの戦争遺産～次世代への継承～」、「肥後考古学会特別例会 戦後80年 くまもとの戦争遺跡調査最前線」他

②項「平和継承」視点

「平和継承リーフレット発行 紙の爆弾“伝単”」、旅のよろこび社「くまもと戦争遺産の旅」、熊本県社会福祉課「戦後80年 未来へつなぐ戦争の記憶展」、くまもと戦争と平和のミュージアム設立準備会「戦後80年 くまもと平和ミュージアム企画展」他

③項「教育普及・啓発」視点

「戦時資料貸出キット 第二弾」、「長崎被爆体験証言会と紙芝居」他

II 主催事業

1 くまもと戦跡ネット 戦時資料貸出キット第二弾「子どもたちの見た戦争」

□令和6年夏の平和展：第一弾紹介 ※令和6年10月より運用中

夏の平和展2024
子どもたちが見た戦争
7月23日（火）～8月31日（土）
主 場 玉名市立歴史博物館こころピア
催 玉名市教育委員会
観覧無料
（関連事業）
講演会「戦時資料収集を通じて 平和への想い」
講 師 松山 強 氏（戦史・戦時資料研究家）
日 時 令和6年9月3日（土）午後1時30分～4時
会 場 玉名市立歴史博物館こころピア
レクチャーホール
参加費 無料

玉名市立歴史博物館こころピア
TAMANA CITY HISTORY MUSEUM KOKOROBIA
〒865-0011 熊本県玉名市御幸町117
TEL 0968-74-3888 FAX 0968-74-3886
URL <http://www.city.tamana.lg.jp>

子どもたちの見た戦争
くまもと戦跡ネット戦時資料貸出キット
戦時資料貸出キット「子どもたちの見た戦争」は、2016年熊本県内での戦時資料レスキュー活動や社会活動に協賛いただいた方々からの提供、九州ろうきん助成事業により収集した戦時資料です。
テーマごとにパッケージした戦時資料を「無料」で貸出します。
県内諸学校での平和学習、職域団体等での平和活動、資料館での展示・学習などに利用できます。
今回は第1弾5キットで、写真パネルも一部には付きます。
くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク
<https://kumamoto-senseki.net/>

□令和6年度 玉名歴史博物館
夏の平和展2024
「子どもたちが見た戦争」くまもと戦跡ネットと玉名市教育委員会の両主催
令和6年7月23日
～8月31日
□くまもと戦跡ネット
戦時資料貸出キット
「子どもたちが見た戦争」第一弾
チラシ表面

□項目⑥「隣組と国防婦人会」

戦時中法被、もんぺ、愛国・国防婦人会たすき、記章、愛国婦人会紙製バック、国防婦人会碗、木製回覧板 他

項目⑦「空襲に備え！警防団」

警防団制服・帽子、山鹿監視隊員腕章、隣組メガホン、警報サイレン、アルマイト製鉄かぶと、巻き脚絆、消火弾、砂弾、消火紙袋、簡易戦時消防ポンプ、燈火管制防空電灯カバー、灯火管制電球、各種防空団体たすき、紙製鉄かぶと「報国帽」

項目⑧「空襲下の庶民生活と子どもの遊び」

各種の統制陶器製品、子ども玩具、講談社絵本、キンダーブック、双六 他

項目⑨「戦後の復興品 オキュパイドジャパン」

ジュラルミンヒシヤク、航空鋼板利用ケース、陸軍食器再生品、出征のぼり加工風呂敷、オキュパイドジャパン玩具・輸出品

2 くまもと戦跡ネット「長崎被爆体験証言会と紙芝居 ※チラシ作成

…熊本県原爆被害者団体協議会 ※2024年ノーベル平和賞受賞団体

□8/23(土)13時会場、13時半開会 ※実施要項作製

□講話「ノーベル平和賞の受賞と熊本県被団協の活動(仮)」二世部会
共同代表原田俊二さん

□証言会「私の長崎被爆体験 ～生き抜いた80年～」

被爆者 浦田藤枝さん

□紙芝居上映「長崎原爆被害のお話し」紙芝居作成者の越智咲耶子さん

□戦時資料貸出キット第2弾「子どもたちが見た戦争 II」紹介

□ワークショップ「平和の紙風船をつくろう」

□展示：浦田藤枝さん資料、検死調書4通、浦田さん証言紙芝居、ヒロシマ被爆瓦、玉名から見た、長崎キノコ雲の絵



浦田藤枝さんの証言
令和6年10月8日

3 平和継承リーフレット発行 「紙の爆弾“伝単”(仮)」

「熊日文化スポーツ基金 令和7年度・前半期助成」4月申請済み

「第22回九州ろうきんNPO助成」9月申請予定

□中国軍機による人吉・球磨地方等への投下伝単

□太平洋戦争末期での熊本市・宇城市・玉名市等への伝単投下 他

□玉名市・熊本市・宇城市・天草市・菊池市・人吉市への無償提供

4 平和活動、出前平和講座、戦争遺産の旅、講演活動 他

(1) 大豊(旧大浜・豊水)小学校、有明中学校等での「地域学習・平和学習・総合学習」支援、
玉名町小学校、菊水小学校、合志楓の森小学校、熊本学園大学附属中学校、玉名ルーテル
学童クラブ、熊本市花園小学校 他での「出前平和講座」の開催

(2) 玉名市内の民間イベントホール「馬空」での平和活動・展示会

第4回街かど戦争資料展「テーマ未定」は、令和7年11月期に開催予定

(3) 旅のよろこび社「第7回くまもと戦争遺産の旅」

①9/21「玉名飛行場・玉名市博戦後80年展・荒尾二造」コース

②10/19「隈庄飛行場・松橋空襲・上天草軍人像」コース



くまもと戦跡ネット・街角サロン「馬空」コラボ企画第三弾
2024年夏の街かど戦争資料展

子どもが読んだ戦時絵本～戦時の絵本と紙芝居から見た戦争～

1. 2回目の戦時資料展・証言会に続き3回目の開催。今回は「子どもが読んだ戦時絵本」をテーマに昭和20年頃の戦時色が濃厚な子ども絵本や戦時ごろく、戦時紙芝居、学用品等を紹介。戦時紙芝居上巻等を親子で一緒に体験する中で「平和の紙芝居 表紙づくり」をワークしてクワイア戦争などの終結と平和実現を願います。

＜主な展示資料・内容等＞約50点
『キンダーブック』から「ミクニコドモ」への絵本変容・・・5冊
絵本、紙芝居、すごろく、舞台等・・・紙資料等・・・15点
革製ランドセル、石版、国民学校教科書、鉛筆と筆箱等・・・30点
資料提供：くまもと戦争遺産・文化遺産ネットワーク
代表 高谷和生氏

1. 会 期：7月31日(水)～8月19日(月) 11時～17時 ※火曜休み
2. 会 場：街角サロン「馬空(ばくう)」 代案 荒尾雄久様
玉名市電261 ☎090(3599)5175
3. イベント：親子でつくる「平和の紙芝居」
(1) 日時：8月11日(日) 13時と15時の二回
(2) 参加：小学生親子/参加費無料/各回三組限定
※事前に馬空へお申し込みください
(3) 内容：戦時紙芝居の紹介と親子体験上巻「ドブツナリダミ」
親子でつくる「平和の紙芝居 表紙づくり」
戦時ごろくの体験
展示品等の説明「ギャラリートーク」

vaqoo_tamana 街角サロン「馬空」

□第6回くまもと戦争遺産の旅

旅のよろこび宮川様

との合同企画育委員

会の両主催

令和6年10月13

日

隈庄飛行場、永代橋

梁・上天草の軍人像

□2024夏の街かど

戦時資料展

第3回 8/11

戦時紙芝居

親子体験上映

戦時ごろく

Ⅲ 両主催事業

1 玉名市立歴史博物館企画展 戦後80年 たまな・くまもとの戦争遺産～次世代への継承～

(1) 場 所 玉名市立歴史博物館「こころピア」、玉名市民会館ホール棟

(2) 期 日 令和7(2025)年7月12日(土)
～9月21日(日)

(3) 「戦後80年 平和祈念講演会」

ア 演題・講演者

「オキユバイド・ジャパン 日本と熊本の占領を見る」
早稲田大学社会科学総合学院教授 佐藤洋一 氏

イ 日 時 令和7(2025)年8月10日(日)

ウ 場 所 玉名市民会館 マルチホール(定員300名)
玉名市岩崎88-5 (0968-73-5107)

エ 両主催 玉名市教育委員会(玉名市立歴史博物館)

オ 講 話 「進駐軍の見た くまもと」くまもと戦跡ネット 高谷和生

カ 令和7年度企画展「戦後80年 たまな・くまもとの戦争遺産 ～次世代への継承～」
(ア) 銃後という日常～くまもとの戦時資料を、語り継ぐ～

※初公開の現物資料あり

- ①全国で唯一「M26照明弾(併用・伝単投下器)」
- ②M69小型焼夷弾、米軍機銃弾
- ③紙の爆弾「伝単」米軍資料を中心
- ④空襲・警戒警報発令中看板、手旗、訓練用看板、空襲サイレン
- ⑤熊本初確認「高田焼統制陶器碗 熊十五」
- ⑥九州で唯一「限庄尋常小学校投下の陸軍通信筒と手紙」、
- ⑦戦時統制「一銭陶貨」
- ⑧ランドセル各種「竹製・紙圧縮・革製他」
- ⑨子どもたちが見た戦争
絵本・雑誌・カルタ・双六・紙芝居・玩具 他



限庄飛行場オキユバイド写真
接收される「飛龍」『占領期
カラー 写真を読む』より



限庄校投下の通信筒

(イ) 玉名の戦争遺跡の紹介

大浜飛行場を発掘する、調べる! ※一部は未公開

□格納庫、正門、浴場建物、爆弾跡を掘る、調べる!

- 大型格納庫コンクリート基礎部材、鉄筋、基礎松材 他
- 大浜飛行場全体模型、ユングマン模型機(1/10)
- 車輪三種(博物館・山代氏・高谷所蔵)、練習機木製プロペラ切断品一翅、九五式練習機部材の各種 他

□大浜飛行場を撮る!

- 1945年「5月13日」と「7月27日」米軍撮影の
大浜飛行場

□大浜飛行場をめぐる二つの特攻隊

「司偵振武桜特攻隊」と待機特攻隊「第九十・九一振武隊」

- 特攻隊寄書き日章旗及び決意の書、萩焼花瓶、当時写真、
法光寺会記録誌、焼失家屋柱材 他

□航空軍装・軍資料から、大浜飛行場を紐解く!

……松山強さん資料借用

- 航空服・航空帽・航空靴・ばく帯、海軍二十〇〇機関砲、
軍刀

陸軍軍服・制帽一式 他

- 大刀洗陸軍飛行学校玉名教育隊の関連資料……大刀洗平和資料館より借用か?検討!
各種訓練時パネル、訓練生用品

□玉名教育隊関角(もろずみ)区隊長遺品から紐解く!

- 指揮刀(サーベル)・アルバム・軍装品・叙勲表彰 等



大浜飛行場第2格納庫の発掘調査

(ウ) 発掘された熊本の戦争遺跡 ※一部は初公開

①神殿原秘匿飛行場掩体壕を発掘する!

- 木製部材各種、鉄材、特攻隊軍事郵便(三木飛行場あて)、高知海軍航空基地木製掩
体の戦後撮影写真二葉 他

※あさぎり町「陸軍人吉秘匿(神殿原木製掩体壕)飛行場」

②菊池飛行場射爆場を発掘する!

- 演習弾、代用爆弾、機銃弾、目標の貝類、現存信管 他

宇佐海軍航空隊監的施設と演習弾頭、第二七振武隊遺品

※菊池市「医者どん坂遺跡」他、菊池飛行場関連遺跡

③熊本城を発掘する！

○米軍12.7ミリブローニング機銃、陸軍噴進砲、噴進砲弾
小銃・銃剣・鉄兜 他 ※熊本市「熊本城内備前堀」

④熊本市内の民間防空壕を発掘する！

○大江遺跡・神水遺跡 ※熊本市「熊本市内各遺跡群」

(エ) 戦時を生き残った人々 ※初公開

①高木軍司（繁雄さん父親・和水町竈門）さんの戦争を、語り継ぐ

□独国ハンザ機木製プロペラ、父の軍歴・渡欧と砲弾記念品、
竈門神社、平和への思い他 …… 本会もしくは館への寄贈意向

②中川邦男大佐・横手勝己大佐他 関連資料 他

(オ) 「米国公文書館所蔵の写真と映像から見た熊本（仮）」

①パネル展示 ※米報道発表資料第一・二弾参照 ※初公開

□米海兵隊撮影白黒写真202枚からのセレクト
□熊日情報ライブラリー所蔵写真の間連写真の展示…… 有償

②16ミリ映像2本の上映 ※二映像ともに初公開

※啓発リーフレット『進駐軍が見た熊本』、『同 II』参照

□長崎ケーブルメディア所蔵「長崎原爆記録全集内の熊本」映像
□昭和館所蔵「熊本の街並み風景 その他」を映像…… 依頼状
□撮影部隊：米海兵隊第2海兵師団ノーマン・ハッチ少佐撮影班
□ベルハウエル16ミリムービーカメラ機、ライカ35ミリ白黒カメラ機、16ミリフィルム

③新発見「隈庄飛行場オキュパイドスライド写真4点」の紹介

□衣川太一氏収集のカラーズライド資料 ※初公開・資料は選択
□くまもと南部広域病院・熊本市立城南図書館との連携・展示会

(カ) 博物館「夏の体験学習 平和の絵手紙」を通して、語り継ぐ

□絵手紙サークル「星の子会」星子裕子さん主宰

※ここからピア主催として実施計画案

□オープニングイベントでの展示作品づくり（7/12）

□親子体験「平和の絵手紙・紙風船づくり」（7/26及び27の両日・時間を区切り実施）

(キ) 「平和のメッセージ」体験コーナー

□エントランスホール・レクチャーホールでの体験コーナー設置
□平和のメッセージを添えた「平和の紙風船づくり」、作品掲示の
メッセージボードの設置
□戦時紙芝居「ドウブツトナリグミ」、平和の紙芝居
□「ちいちゃん」服装体験

(ク) 語り継ぐ活動 ※会活動の志向

①「高校生ピースボランティア（仮）」組織と活動

□北陵高校生徒有志他による浦田さん被爆体験絵本「長崎原爆被害のお話し」の朗読
□大浜空襲体験者の中嶋征子さん紙芝居「私と大浜空襲（仮）」作製の検討
□博物館展示ガイド活動「高校生ピースボランティア（仮）」の組織化

②戦時資料貸出キット「子どもたちの見た戦争」ワークショップ

□日教組城北支部・県高教組荒玉支部の組合員を対象とした資料解説とワークショップ
□博物館ギャラリートーク後の開催では …… 7/12（土）・9/6（土）他

(ケ) その他

□予算措置（講演料・旅費等、借用料、展示図録 等）の時期 ※博物館
□講演依頼、展示依頼、発表依頼 他 ※内諾：くまもと戦跡ネット、正式博物館
□戦後80年特別展展示図録、図録内容の検討 ※博物館・くまもと戦跡ネット
□借用資料の全体像、内容検討、リストアップ ※くまもと戦跡ネット・博物館

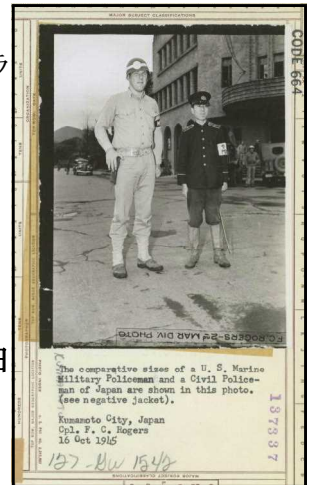
IV 後援・支援等事業

1 肥後考古学会 特別例会「戦後80年 くまもとの戦争遺跡 調査最前線 ※実施要項作製

□期日：令和7年9月13日（土）
□会場：玉名市民会館会議室 第2会議室
□午前：企画展の見学、博物館職員によるギャラリートークの設定
□午後：県内での発掘調査事例と各遺跡の歴史像等を各担当者から発表
玉名市・あさぎり町・菊池市・熊本市・熊本城調査研究センター
□第287回特別例会「くまもとの戦争遺跡、調査最前線」記録集（カラー版）刊行予定



陸軍飛行服・ばく帯・飛行帽、陸軍軍服・制帽他



市公会堂前の進駐軍写真

2 熊本県の戦後80年関連施策

「戦後80年 未来につなぐ戦争の記憶展」及び「戦後80年 パネル展」

- 主催：熊本県健康福祉部社会福祉課
- 概要：県内での平和活動団体の紹介（パネル展示・DVD上映・語り部）等
- 期日：8月6日（水）～11日（祝・月）
搬入展示5日・撤収12日。設営・撤収は各団体で実施
- 会場：イオンモール熊本 2階イオンホール（36坪）
〒861-3106 熊本県上益城郡嘉島町大字上島字長池2232 TEL：096-235-2200（代表）
- 予定団体：本会、熊本県遺族連合会、全国強制抑留者協会熊本県支部、くまもと戦争と平和ミュージアム設立準備会、錦町ひみつ基地ミュージアム 計9団体を予定
- その他：展示ケースなし、会場警備は臨時で二名程度が常駐
- くまもとの戦争遺産パネル8枚の展示、戦時資料貸出キット第一弾の紹介、参加形式、展示内容、イベント企画等の検討中

3 「戦後80年 くまもと平和ミュージアム企画展」※高谷対応

- 主催：くまもと戦争と平和のミュージアム設立準備会
- 会場：熊本県立美術館分館 展示室3
- 期日：令和7年8月19日（火）～31日（日） 準備18日
- 主は上村さん戦時資料、「軍都熊本」紹介と寄贈・寄託資料・高谷
- ギャラリートーク、講演、講話、ワークショップ、来場者向け『ガイドブック』作成



三船敏郎の戦時写真

4 くまもと南部広域病院地域文化事業

※高谷対応

「戦後80年 隈庄飛行場と三船敏郎」

- 期日：令和7年10月5日（日）午後
- 会場：熊本市火の君文化センター 文化ホール（南区城南町）
- 高谷講演「隈庄飛行場と“世界のミフネ”」
- 三船敏郎主演・稲垣浩監督「無法松の一生」無料上映
- 三船にまつわる写真・映画ポスター・グッズ展示・キネコム様
- 熊本市立城南図書館「戦後80年図書まつり 三船敏郎と隈庄（仮）」との連携



熊本市商工学校への空襲

5 大月書店版新戦争遺跡事典『決定版 戦争遺跡事典』※高谷対応

- 令和7（2025）年7月中旬刊行予定
- 戦争遺跡保存全国ネットワーク・高谷分担

6 連携、講演、支援 等

(1) 「第17回熊本空襲を語り継ぐ集い」

※高谷対応

平和憲法を活かす熊本県民の会

- 期日：令和7年7月1日（火）
- 会場：熊本市中央公民館 第3大会議室
- 「記憶の継承プログラム」第二年目 熊本空襲のAIカラー化作業第二弾（新規の5枚）、米軍空襲データ化、日本側証言データ化 他
- 「熊本初空襲 柿原空襲」津下環さん証言と熊本空襲の検証

(2) 大村市歴史資料館 令和7年特別展「大村と戦争」

※高谷対応

- 会場：大村市歴史資料館
- 日時：10月25日（土）午後1：30から
- 高谷講演「海軍艦上爆撃機 流星 風防と熊本の学徒・挺身隊」

(3) 平和講演会・研修会

- 平和団体、職域団体、教職員組合等の依頼対応
- 連合熊本平和活動ピースアクション、熊本県退職者連合会、連合熊本県南地域協議会、日本教職員組合城北支部、熊本高等学校教職員組合荒玉支部 他

(4) 厚生労働省社会援護局、日本戦没者遺骨収集推進協会での戦没者遺骨収集事業「慰霊事業 考古学専門員派遣」への支援



連合熊本第16回ピースアクションでの講演



連絡先

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク

戸寄孝行・末永 崇・本田涼子・高谷和生

□高谷自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5

□高谷個人携帯 090-1513-5528

□高谷Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp

□HP URL <http://www.kumamoto-senseki.net/>

[参考資料1 戦後70年 節年での取り組み]



節年行事「戦後70年」での本会取り組み

①海軍艦上爆撃機「流星」展示

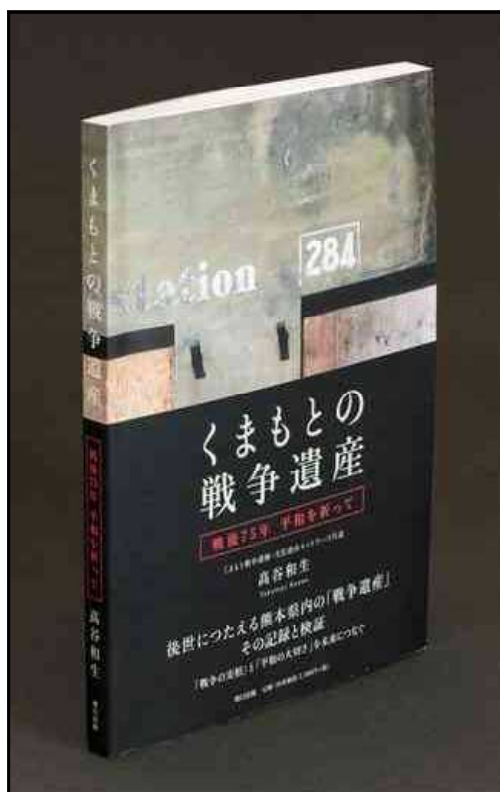
玉名市歴史博物館ホールで海軍艦上爆撃機「流星」風防の展示

②戦後70年『くまもと戦争遺産ガイドマップ』刊行

③平和講演会「戦後70年 米軍資料から熊本空襲を考える！」

生協くまもと・戦争遺産フォーラムくまもと主催

④熊日・RKK・熊本市「戦後70年 平和のバトン」展部分共催 「県内戦争遺跡コーナー」展示、「戦時食体験 すいとん」支援、 「戦争遺産を学ぶ旅」ガイド 他



『戦後75年 平和を祈って』

くまもとの戦争遺産』

第42回熊日出版文化賞大賞を受賞

第34回地方出版文化功労賞

最優秀賞を受賞

2020年 熊日出版

[参考資料2
 本会活動紹介]

熊本日日新聞社
 令和6年8月15日社説

「終戦の日
 分断深まる今だからこそ」

社説

空から舞い降りた紙片には、米
 国とソ連の兵士が軍靴で日本列島
 を踏みつけ、握手する絵が描かれ
 ていた。「ぬくい(暑い)時季だ
 ったのに、雪が降ってきたと思っ
 た。1945年、この紙片を天
 草市で拾った80代の男性2人が先
 月の本紙に当時の様子を語ってい
 る。紙片は大平洋戦争末期、米軍
 が日本の戦意をくじくため上空か

らまいた「伝單」と呼ばれるビラ
 だった。幼かったため内容は分か
 らなかったが、周囲の大人たちは
 「ソ連がアメリカと手を組んだ。
 日本は負けるばい」と口々に話し
 たという。

「戦後生まれ」9割
 戦争を体験し、当時の空気を知
 るこうした証言は貴重になるばか

終戦の日

分断深まる今だからこそ

これまで、同じ過ちを繰り返さない
 と断言してきたのか。真摯に歴
 史に向き合い、今、そして未来を
 考える田にしたい。

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネ
 ットワーク代表の高谷和生さんに
 よると、日本には約2千種類、約
 7千枚の伝單が出土された。熊
 本県内では天草市と熊本市で計5
 種類が確認されている。

日本への空襲が始まったのは44
 年11月。当初は大都市が狙われ、
 45年3月の東京大空襲からわずか
 10日で名古屋、大阪、神戸が爆撃
 された。その後、60を超える地方
 の中小都市が相次いで焼夷弾爆
 撃を受ける。熊本市にも壊滅的な
 被害がもたらされた。同年7月1
 日の熊本大空襲である。

昔話と片付けるのは簡単だが、
 つて焼け野原となった日本とも重
 なって見える。
 米国の代表する歴史家ジョン・
 W・タワーズ氏の『戦争の文化』(岩
 波書店)によると、非戦闘員とい
 う概念が消滅したのは42年の英国
 によるドイツ空爆だったという。
 その後、人口密集地に対する空爆
 の手法は磨き上げられ、米国が45
 年に日本を対象に完成させたこと

りだ。きょうは終戦の日。多大な
 犠牲を払い、ようやく終わった戦
 争から79年がたつ。長い歲月であ
 る。今や戦後生まれは、およそ9
 割に達する。戦争は遠い昔のこと
 で、自分とは関係ない。そう思っ
 ている人も多いかもしれない。

正しい戦争と決別
 天草市立渡歴史民俗資料館で
 開催中の企画展「紙の爆弾・伝單
 と天草の軍人像」には、約20種類
 の伝單が展示されている。これら
 も物言わぬ戦争の「証言者」だろ
 う。「空襲予告」と記された一枚
 には「この都市が米空軍の次の攻
 撃目標です」とあった。

そうだろうか。世界に目を向け
 る。ロシアによる侵攻を受けている
 ウクライナ、イスラエルからの攻
 撃にさらされているパレスチナ自
 治区ガザ地区では、空爆におびえ
 る日々が今も続いている。子ども
 たちが通う学校や病院までが標的
 となった。身を守るすべを持たな
 い民間人や非戦闘員のはずの幼い
 子どもまで犠牲となる状況は、か

る。それは、それまで国際連盟や
 米国の唱えていた「正しい戦争」
 からの決別を意味した。
 タワーズ氏は「非戦闘員の大量殺
 害は、敵のインフラを標的にする
 だけでなく、総力戦の時代におけ
 る心理戦に不可欠という理由で正
 当化された」と記す。それは地上
 で逃げ惑う市民らにとって「無差
 別テロ爆撃」とかわりなく、そう
 した思考の延長線にヒロシマ、ナ
 ガサキがあると指摘する。

安全保障理事会に世界の平和を保
 つ責任を持たせた。ところが、そ
 の常任理事国のロシアがウクライ
 ナに侵攻。2年半になろうとして
 いるが、停戦協議の糸口さえ見え
 ない状況である。米国も、ガザ地
 区攻撃で4万人近い犠牲者を出し
 たイスラエルを拒否権を使って擁
 護し、国連安保理を機能不全に陥
 らせている。大いに憂慮すべき事
 態だ。

自らに都合の良い思考、異論や
 批判の排除、過度なナショナリズ
 ム、敵の動機や能力の過小評価、
 文化や人種への偏見。こうした
 要因が絡み合い、戦争は起きる。
 始まってしまった武力衝突を終わ
 らせるのは難しい。世界では、き
 ょうも戦火が命を脅かしている。
 歴史に学び、多くの難題が行く手
 を阻む「今」を考え、分断が深ま
 る現実を乗り越えるための力とし
 たい。その積み重ねが平和な世界
 を築く礎となるはずだ。

熊 本 日 新 聞 社 令和6年(2024年)9月25日 水曜日

記憶の継承へ保存進めて

消失する戦争遺跡

所在地のリストを入手。43都道府県の216市区町村にアンケートを実施して現状を聞いた。

熊本県内からの報告は、熊本市

自治体からは、財源の確保が難

太平洋戦争関連の旧軍施設を主とした戦争遺跡について、文化庁の近代遺跡調査に市区町村から報告があった642遺跡のうち約3割が、開発や劣化などのため消失または大部分が消失し、原形をど

の「田原坂古戦場」「騎兵第6連隊兵舎跡」「歩兵第十三連隊食堂の跡」と、天草市の「天草海軍航空隊遺構」。騎兵第6連隊兵舎跡

費用や安全性の観点からも困難だろう。文化庁は、保存に向けた国の財政的支援を求める声が多い。現存する戦争遺跡を全て保存するのは、



また、来年は戦後80年を迎える。戦争体験者が少なくなる中、遺跡を通じて記憶の継承は重要だ。実態の把握や保存に向けた対策が望まれる。

は現存せず、天草海軍航空隊遺構は大半が消失、残る2遺跡は現存となっている。

自治体は独自で保存を進めている例もある。神奈川県川崎市は「地域文化財顕彰制度」を創設し、旧

文化庁の調査は1996年に始まった。国による調査としては唯一とされ、幕末・開国、それから第2次世界大戦終結、ころの「軍事に関する遺跡」を対象としている。共同通信が情報公開請求で遺跡と

消失した遺跡について市区町村に理由を尋ねたところ、住民や所有者の意向による取り壊し、開発や建て替えによる工事、経年劣化などが挙げられた。安全性が確保できず解体された例もあった。天草

「歴史文化遺産」として保護している。国が地域の戦争遺跡をよく

知る自治体と連携し、調査や保存に予算措置を講じるなどの施策も考える必要があるだろう。

一方で、各地の市民団体が戦争遺跡の調査や啓発活動に取り組んでいる。熊本では、くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワークが県内の遺跡の調査や、結果をまとめたリーフレットの作成、見学会などを続けている。戦争関連の資料館設立を目指す取り組みもある。

このような民間の活動に、行政が協力していくことも重要ではないか。

軍都とされた熊本には、文化庁に報告された4例の他にも、菊池飛行場(菊池市)や人吉海軍航空基地(錦町)など、数多くの戦争遺跡が残っている。こうした戦争の拠点となった施設だけでなく、戦災の痕跡を残す遺構もあるはずだ。戦争の記憶を伝え、平和を考える貴重な遺産として後世に残していきたい。

2024.9.25